

Oita Report 2024

体験の風をおこそう

事業報告

独立行政法人国立青少年教育振興機構委託事業
大分県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業



大分県「体験の風をおこそう」実行委員会
大分県立香々地青少年の家
大分県立九重青少年の家

CONTENTS

目次	・・・P 1
01 大分県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動について	・・・P 2
02 大分県「体験の風をおこそう」実行委員会	・・・P 2
03 子どもの自然体験スタートアップのための体験活動「ちびっ子自然広場」	・・・P 3
04 郷土の環境を活かした体験活動「香々地・九重自然学校」	
①マリンスポーツ体験教室	・・・P 4
②夕暮れSUP お泊り会	・・・P 5
③ここのえ de トレッキング	・・・P 6
05 宇宙教育推進に向けた体験活動	
④香々地宇宙学校	・・・P 7
06 体験格差是正のための体験活動	
⑤かかち野外体験塾	・・・P 8
07 体験活動推進に向けた啓発活動	
⑥体験活動ミーティング「海フェス」・「森フェス」	・・・P 9
⑦テーマ別体験（たき火と星空お泊り会・キャンプ飯 de お泊り会）	・・・P 10
⑧読書活動の充実に向けた「本との出会い広場」	・・・P 11
08 次世代の人材育成に向けた活動	
⑨青少年指導者養成研修	・・・P 12
09 事業を通じた成果と課題	・・・P 13
10 御協力いただいた団体	・・・P 14

0 1 令和6年度大分県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動について

大分県では地域ぐるみ、つまり「人のつながり」で郷土の豊かな自然と子どもたちが体験できる場・出会いの場をつくるために国立青少年教育振興機構が進める「体験の風をおこそう」運動に取り組み始め、4年が経過しようとしています。当初は、新型コロナウイルスの蔓延で、子どもたちは満足に友だちとふれ合い遊ぶことができず、ストレスを抱え込む姿がありました。また、失敗を恐れ一歩を踏み出そうとしない子どもが散見されました。

一方で、デバイスの発達に凄まじく、調べたいことや知りたいことに対して短時間で答えが得られる、いつでもコミュニケーションを図れるなど利便性がある生活様式になりました。そして、子どもたちはこの利便性に慣れる中で、子どもたちの居場所が「本物」から「バーチャル（仮想）」へ変化し、「本物」から遠ざかっているという声もありました。

そのような中、「そとあそびのすゝめ～自然・子ども・出会い～」をテーマに本取組が始まりました。この基本テーマを軸に年々進化・深化を図っています。4年目を迎えた今年度は、活動フィールドに九重青少年の家を加えることで、これまでにない自然体験を子どもたちに提供し、自然の中に居場所を見出してほしいと思います。さらに、ふるさと大分の良さに気づき、誇りに思う、そして地域を担うたくましい大人に育てほしいと私たちは願います。

0 2 令和6年度大分県「体験の風をおこそう」実行委員会について

事業の開始にあたって、多様な団体の代表者による実行委員会を組織し、新たな取組の可能性、団体間のネットワークづくり、広報活動の視点などについて協議しました。

取組4年目の今年度は、くじゅう連山を活用した九重青少年の家での取り組みをはじめプラネタリウム更新に伴う「香々地宇宙学校」の拡充、未就学児から低学年を対象にネイチャーゲームをきっかけにした自然体験活動の拡充、体験活動への機運高揚を図るため、新たな連携先との啓発イベントを拡大実施などの協議を行いました。

【委員】（敬称略・五十音順）

- 石川 優生 （有限会社 石川建設 専務取締役）
- 須股 恵美子 （大分県立香々地青少年の家 所長）
- 高見 大介 （NBU 日本文理大学人間力育成センター長）
- 谷 知英 （森のようちえん「星のたね」 主宰）
- 福田 聡子 （くにさき半島七郷ネイチャー 隊長）
- 藤井 康子 （大分大学 教育学部 准教授 博士）
- 山田 弘樹 （大分県 PTA 連合会 会長）
- 渡辺 能賢 （大分県教育庁社会教育課 主任社会教育主事）



【開催日】

- 第1回 令和6年6月24日（月）
- 第2回 令和7年2月 7日（金）・・・積雪による道路状況不良により書面会議に変更

Oita Report 03

子どものやりたい！をかなえる

幼児期の子どもたちが自然の中で、「自分がやりたい」と思ったことをとことんできることを大切にしたいプログラム。

香々地の海・森の中での体験はきっと心に残ることでしょう。



海で浮く活動に挑戦



バナナボートでゆったり遊覧



海でおもいきり泳ぐ体験



磯遊び



もりのアドベンチャーロード



ネイチャービンゴ



—指導者から—

- アドベンチャーロードは、先生と離れて、冒険心を育む内容がとてもよい体験になりました。
- ネイチャービンゴでは、自然と一体化できた体験が友だちや先生たちと一緒にできてとても良かったです。
- バナナボートに乗せてもらう体験や浮く体験ができ、とてもよかったです。
- プラネタリウム室での絵本の読み聞かせも初めてのことで、子どもたちの心に残ったことと思います。

03 子どもの自然体験スタートアップのための体験活動 「ちびっこ自然広場」

対象：未就学児から小学校低学年まで

●第1回 令和6年6月7日

キラリいろ幼稚園 12名

●第2回 令和6年7月18・19日

浄願寺こども園 20名



夏は香々地でマリンスポーツを楽しもう！

今年も、ウインドサーフィン体験教室とSUP（スタンドアップパドルボード）体験を開催しました。ウインドサーフィン教室は、プロウインドサーファーの穴見知典氏を招いて、楽しく体験しました。プロの適格な指導ややさしい励ましの言葉により、初めて挑戦した子どもも皆、しっかりと風を受けて進むことができました。天候が心配されましたが2日間とも無事に開催でき、多くの方に夏の香々地の海を楽しんでもらいました。



親子でSUP



初めてのウインドサーフィン



海に漕ぎ出す



マンツーマンの指導



SUPでターン

—参加者の感想—

- はじめてのウインドサーフィンで最初は難しかったけれど、穴見プロに教えてもらい乗れるようになったときは本当にうれしかったです。また挑戦したいです。
- 風を受けて自分のウインドサーフィンがどんどん進んだとき、とても気持ちがいいな、と思いました。
- 今年もSUPを体験できてよかったです。とても楽しく、また参加したいです。

04 郷土の環境を活かした体験活動 ①マリンスポーツ体験

- 第1回 令和6年6月23日 ・ウインドサーフィン教室 参加者 5名
・SUP体験 参加者 10名
- 第2回 令和6年6月30日 ・ウインドサーフィン教室 参加者 5名
・SUP体験 参加者 19名

●協 力 株式会社カレラワークス

対 象：子ども及びその保護者



Oita Report 04

雲の間からほんの数分間。夕日が差し込めた!

海に夕日が沈む街。最高のロケーションの中、SUP で水上を颯爽と進んでみたり、親子で海水を掛け合いながら騒いで楽しんだり・・・

とても素敵なひと時になりました。



親子で SUP



簡単に乗れるかな...

—参加者の感想—

- 夕日がとてもきれいでした。初めての SUP や海水浴だったけど、とても楽しめた。
職員の方が見守ってくれて安心できた。
- 大きな魚を見かけたり、海の上を滑るように進み、風を切っていくのが楽しかった。
海に入った後、お風呂が気持ちよかった。
- SUP でぐるぐる回ったり、早く進んだりして楽しかった。
- いつもより夕日を眺めたり、自然に囲まれて過ごせてよかった。



SUP 体験にわくわく



家族で初めての SUP 体験



少しだけ陽射しが差込む



短時間で上達!

04 郷土の環境を活かした体験活動 ②「夕暮れSUPお泊り会」

【9月14日タイムスケジュール】

- 13:00～ 受付
- 13:30～17:30 海水浴
- 15:30～16:30 1回目 SUP
- 16:30～17:30 2回目 SUP
- 17:00～20:30 入浴
- 18:00～19:30 夕食 (持参)
- 22:00～ 就寝

【9月15日タイムスケジュール】

- 7:00 起床
- 7:30～8:00 朝食 (食堂定食)
- 8:40～ 退所点検
- 9:00 退所

対象: 県内(県外も含む)
高校生以下の子どもを含む家族

● 令和6年9月14日～15日

● 参加 10家族40名

Oita Report 04

壮大な自然を踏みしめる

九重青少年の家は、大分県の西部に位置し「阿蘇くじゅう国立公園」の中にある社会教育施設です。「このえdeトレッキング」は、九重青少年の家の恵まれた立地条件を活かして、親子でくじゅうの自然をたっぷり味わってまいります。

最初の活動は、トレッキングです。登山でなくトレッキングとすることで、ゆっくりと自然を楽しむ経験と 険しい山道も登る経験を同時に体験してもらいます。

出発して、最初に所内を流れる沢にて、山が持つ「水源かん養機能」を学習します。



九重青少年の家敷地内の沢で観察



九重に咲く植物

こにぎりからおにぎりへ

アスレチックゾーンから展望台まで、リンドウやヒゴシオンなど、草花を観察しながら急な坂道を登り続けます。

展望台で、ゆっくり休みながら周辺の山々の景色を楽しみ、隣接する地熱発電調査施設の説明を聞きます。

急な階段を下り、自然の恵みである温泉設備を見ながら、登山口に歩を進めます。



九重青少年の家展望台

おにぎり山へのルート



山頂手前

おにぎり山山頂

親子で助け合いながら、急な山道を進み頂上を目指します。やっとたどり着いた頂上みんなで記念撮影後は、長めの休憩・・・頂上でゆっくり休憩した後は、再び「九重青少年の家」を目指します。

施設内では、自然の恵み「温泉」を体感！自然の中で昼食、ハンモック、スモア作りなど思い思いに「秋の日の休日」を満喫しました。



スモア作り

ハンモック体験

04 郷土の環境を活かした体験活動 ③「このえdeトレッキング」

対象：県内の小学生とその家族

●令和6年10月12日 参加 6家族17名参加

●令和6年11月23日 参加 6家族21名参加

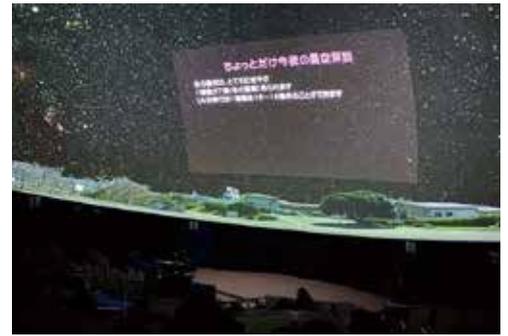
「教育庁チャンネル」の取材あり

(11月2日は、台風接近に伴い11月23日に延期)



香々地青少年の家の目の前には広大な大海原が広がり、夜になるとそこは壮大な宇宙を体感できる絶好の星空観察スポットへと変貌します。

香々地宇宙学校は、実天観察を交えながら宇宙への興味や関心を高める他、キット作製で宇宙科学に関する学習を行っています。



望遠鏡作りと月の観察

勉強会と流星群観察

—第1・3回 参加者の感想—

- 宇宙や星に興味がありました、家族で夜でかけられていい思い出になりました。
- 身近な天体（地球 太陽 月）について学ぶことができました。実際の星を見ながらの解説は初めてでしたがとてもわかりやすかったです。
- 流星群がたくさんあることに驚きました。



砂浜に向かって発射



ロケット作り



ロケット着地地点

—第2回 参加者の感想—

- ロケットの話がとても興味深かったです。
- 予想より遠くまで飛び、拾いに行くのが大変だったけど、家族で楽しめました。

05 宇宙教育推進に向けた体験活動 ④「香々地宇宙学校」

対象：小中学生を含む家族

●第1回 「望遠鏡作りとペルセウス座流星群観察」 令和6年8月12日・13日 参加9家族31名

※同時開催 ②ペルセウス座流星群観察会 参加8家族30名

●第2回 「ペットボトルロケット作りと試射」 令和6年11月16日 参加6家族18名

●第3回 「望遠鏡作りとふたご座流星群観察会」 令和6年12月14日 参加11家族35名

かかち野外活動塾は、児童養護施設で生活する子どもが普段とは違う環境で宿泊や自然体験活動を通して、達成感や成就感を感じることで、自己肯定感を向上させることをねらいとしています。

今年も子どもたちが、夏には香々地の海や森での自然体験や宿泊体験、冬には九重でのスキー体験など様々な体験活動を満喫し、楽しむ様子が見られました。

スキー体験より・・・

－参加者の感想－

- ・最初はいろいろな人に突っこんでしまったけれど、最後はちゃんと滑れるようになり楽しかったです。
- ・スキーが初めてで、少し怖いという気持ちがあったけれど、だんだんできるようになり、怖い気持ちなくなり、楽しくなりました。また行きたいです。

－施設職員の感想－

- ・普段はインドアな子どもがすぐに上達していたり、最初はなかなか滑ることができなかった子どもも諦めずに取り組んだり、とても良い社会経験を行うことができました。



宿泊体験での海活動



スクールに向かう動く歩道



リフトもはじめて



滑る感覚を身につける

06 体験格差是正のための体験活動 ⑤「かかち野外活動塾」

対象：児童養護施設に入所する
児童生徒及び施設職員

香々地宿泊体験

●令和6年7月27日・28日

栄光園

参加者数 9名

●令和6年8月8日

山家学園

参加者数 23名

スキー体験

●協力：九重プロスキースクール

●令和7年1月25日

別府光の園

参加者数 10名

県民ぐるみで体験活動を推進する取組として「体験活動ミーティング～海フェス～、～森フェス～」を開催しました。

両日もとも天気に恵まれ、NBU日本文理大学の学生や大分北部地区森林・林業活性化協議会など、多くの方々の協力のもと、たくさんの参加者とともに、海・森での様々な体験活動を行うことができました。



＜森フェス＞ロープアスレチック

ー海フェスでの感想ー

- 普段の海水浴では味わえない、水上トランポリンやSUPに乗れてとても楽しかった。
- 海岸清掃活動では、たくさんの色々なゴミがあったので驚いた。

ー森フェスでの感想ー

- 家族で植樹活動ができたし、数年後の成長を見に来る楽しみができた。
- 自然や命の循環を学ぶことができた。



＜海フェス＞大学生ボランティア



＜海フェス＞SUP



＜海フェス＞水上トランポリン



＜森フェス＞ネイチャークラフト



＜森フェス＞植樹活動



＜森フェス＞ジビエ

07 体験活動推進に向けた啓発活動

対 象：子ども及びその保護者

⑥体験活動ミーティング「海フェス」「森フェス」

- 海フェス 令和6年8月10日(土) 参加者 246名
実施イベント 海水浴、水上トランポリン、SUP ほか
- 森フェス 令和6年11月17日(日) 参加者 1,213名
実施イベント クヌギの植樹、ネイチャークラフト、椎茸試食 ほか
- 協 力 NBU日本文理大学 杵築森の遊び隊 豊後高田椎茸農園 大分県社会教育課
九重青少年の家 大分北部地区森林・林業活性化協議会 ほか

県民ぐるみで体験活動を推進する取組として「テーマ別体験」を実施しました。今年のテーマは「キャンプ」です。自然と戯れ、自然に身を任せる、そのような感覚を少しでも感じてほしいとの思いで「たき火と星空お泊り会」、「キャンプ飯deお泊り会」を開催しました。



チキンラーめし

キャンプ飯deお泊り会



給水準備



卵を上手に割りました



出番を待つ道具たち



参加者の感想ー

たき火と星空お泊り会

- 日頃とは全然違う時間を過ごせてよかったです。
- 時間に追われず、星を眺めたりたき火に当たったり、メディアから離れ家族の会話も増え自然を満喫できました。
- 子どもたちも大満足でした。



キャンプ飯deお泊り会

- キャンプはハードルが高かったのですが、キャンプ飯のみ楽しめる今回の企画はとてありがたかったです。
- メスティンもホットサンドメーカーも両方欲しくなるくらい楽しかったです。



メタルマッチで着火

たき火と
星空
お泊り
会



たき火と星空観察

07 体験活動推進に向けた啓発活動 ⑦テーマ別体験

対象：子どもを含む家族

- 「たき火と星空お泊り会」 令和6年10月12日・13日 参加 2家族6名
薪割り、火起こし（メタルマッチ体験）、各自夕食、たき火、星空観察、宿泊棟泊、各自朝食
- 「キャンプ飯deお泊り会」 令和6年11月23日・24日 参加 3家族12名
メスティン炊飯、たき火、星空観察、宿泊棟泊、ホットサンド作り

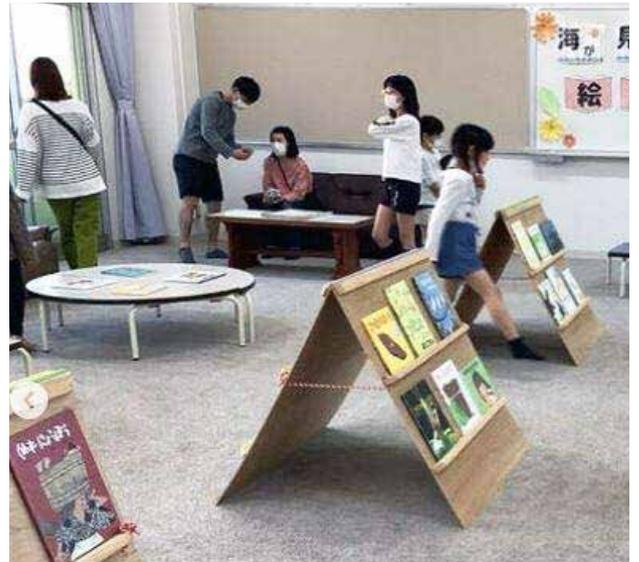
香々地青少年の家を訪れる子どもとその保護者に「絵本図書館」を開放しています。今年も親子で本に親しむ憩いの場として多くの方々に利用していただきました。

子どもの頃から本に親しむ機会を充実させる取り組みを行っています。

青空絵本図書館



「香々地青少年の家」の絵本図書館（別館談話室）は、東に長崎鼻、西に周防灘を見渡せる、施設の中で最高の眺望なのです。



絵本図書館

— 来場者の感想 —

- 外で本を読めて気持ち良かったです。有意義でした。
- いろいろな種類の絵本がたくさん設置されていて、子どもが大喜びでした。
- 屋外での活動後に利用しました。休憩を兼ねてゆっくりと絵本を読むことができました。

07 体験活動推進に向けた啓発活動

⑧読書活動の充実に向けた「本との出会い広場」

対象：子ども及びその保護者

● 常時開設 来場者 28家族62名

● 協力 大分県立図書館



ボランティア実地研修は、体験活動プログラムのねらいやその手法の習得、リスク管理等の方法を理解することを通して、子どもたちの体験活動プログラムの開発、企画実践力の向上を図るとともに、実際のボランティア活動やイベントに参加して実践力を身につける研修です。



座学を終え、実技でリスクを感じる



事前の現地確認



「森フェス」での実地研修



「海フェス」での実地研修



リーダー研修後の実地研修

—参加者の感想—

- ・リスクマネジメント研修を受けて、実際に危険なことを書き出してみると、考えていた以上に多くて驚いた。事故やけががないように、しっかり事前準備をしたい。
- ・子どもたちと触れ合うと同時に仕事の大変さが先生方の背中からしみじみ伝わってきました。私自身も成長できたと確信しています。
- ・子どもたちと関わる楽しさや難しさを経験し自分の成長につなげることができた。次回のイベントにも是非参加したい。

08 次世代の人材育成に向けた活動 ⑨ 青少年指導者養成研修

対象：子どもの体験活動指導者をめざす大学生

● ボランティアリーダー研修

第1回	令和6年8月16日～20日	参加者	6名	サマーキャンプ
第2回	令和6年12月7日・8日	参加者	5名	オータムキャンプ
第3回	令和7年2月7日・8日（積雪による道路状況不良により中止）			

● ボランティアスタッフ実地研修

第1回	令和6年8月10日	参加者	10名	海フェス
第2回	令和6年11月17日	参加者	16名	森フェス

● 協力 NBU 日本文理大学

09 成果と課題



【集客について】

- 参加者数1,862人（フェスの延べ人数を含む）（506組）と昨年度（1,698名）比約10%増加した。
- 活動ステージに九重青少年の家を追加することで、県民が参加しやすくなった。
- 関心を引く活動内容を取り入れることで、森フェスでの参加が増加した。
- 坊ガツルキャンプ、漁業体験が荒天のため中止になった。コアなファンから「残念」と声が聞かれた。

【満足度について】

- すべてのイベントで満足度3.9（4.0満点）と高評価を得ている。また、参加者の声（アンケート記述）もすべて肯定的である。
- 「四季に合わせた活動があり、自然と知識が増える」、「森の命の循環を学べていい体験になった」など各活動の趣旨が理解され、「体験活動は学び」ととらえた参加者の声が多数聞かれた。
- ゆとりある活動時間や家族時間の設定することで、適切な活動負荷を参加者に提供できた。
- 単に「楽しかった」ではなく、学習の広がりや深まりに繋がる活動を模索したい。

【各種団体との連携について】

- 地元漁業とは、初めての連携だったが、次年度は新たな活動で連携したい。

【広報について】

- メーリングリスト登録数に伸び悩みがあるため、新たな広報媒体を模索する必要がある。



10 御協力いただいた団体



マリンショップB u z z
株式会社カレラワークス



日本文理大学
人間力育成センター



有限会社福田林業
杵築森のあそび隊



豊後高田椎茸農園

大分県北部地区
森林・林業活性化協議会

たくさんの企業・
団体の皆様にご協力
いただきました。

ありがとうございました。

香々地青少年の家

〒872-1202 大分県豊後高田市香々地5151番地
TEL：0978-54-2096 FAX：0978-54-2152
E-mail：a31514@pref.oita.lg.jp



九重青少年の家

〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野204-47
TEL：0973-79-3114 FAX：0973-79-3115
E-mail：a31515@pref.oita.lg.jp



事業報告

体験の風をおこそう

独立行政法人国立青少年教育振興機構委託事業

大分県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業



発行 令和7年2月

監修 大分県「体験の風をおこそう」実行委員会